



2023年1月13日

各 位

会社名 ジェイリース株式会社
代表者名 代表取締役社長兼会長 中島 拓
(コード番号: 7187 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務兼専務執行役員
経営企画本部長 中島重治
(TEL. 03-5909-1245)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月6日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期連結業績予想値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,450	百万円 2,200	百万円 2,170	百万円 1,480	円 銭 166.40
今回修正予想 (B)	10,850	2,400	2,390	1,610	181.02
増減額 (B-A)	400	200	220	130	
増減率 (%)	3.8%	9.1%	10.1%	8.8%	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	9,162	1,971	1,946	1,340	150.95

(修正の理由)

住居用賃料保証及び事業用賃料保証が堅調に推移し、売上高が当初計画を上回って推移していることに加え、貸倒コストや債権管理業務等におけるコストコントロールも奏功し利益面においても当初計画を上回って推移していることから、通期業績予想及び配当予想の上方修正を行います。

売上面では、出店エリアでの顧客の囲い込み、外部企業との連携、当社の強みである地域密着営業、ニーズに対応した顧客獲得等により、売上高は当初計画を上回る水準で推移しております。経費面では、不安定な景況感の中、与信審査及び債権管理業務等におけるコストコントロールが維持できております。

また、当第3四半期以降においては、①人への投資 (業績連動賞与の導入等)、②システムへの投資 (AIを使った与信審査データ分析等)、③プロモーションへの投資 (広告宣伝等のプロモーションの強化) と

いった「未来投資費用」を積極的に追加計上、執行しております。当社は、本追加費用を勘案し通期業績を試算した結果、本件費用を十分に吸収した上で、更に前回公表した業績予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について通期業績予想を上方修正いたします。

足もとの国内金利が上昇傾向にあることや資材価格等の物価高による経済の停滞が、一時的には引越しや店舗出店の先送り、賃料滞納の増加等、業績にマイナスとなるリスクはあるものの、一方で、持家指向から賃貸指向への移行や貸主のリスク意識の強まり等により、当社の事業機会は拡大するものと考えております。今後も当社は事業の「安定と成長」の両立を目指し、既存事業の成長及び社会課題の解決を目指した事業育成を行うとともに、引き続き全国に店舗網の拡大を行うことで日本中どこでも地域に根差した手厚いサービスをお客様に提供してまいります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月6日発表)	円 銭 25.00	円 銭 25.00	円 銭 50.00
今回修正予想	—	35.00	60.00
当期実績	25.00		
前期実績 (2022年3月期)	15.00	25.00	40.00

当社の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本方針とし、配当額については、配当性向30%程度を当面の基準とし、株主還元と会社の成長を両立させていくことを基本方針としております。この方針に基づき業績見通しにあわせ、配当予想の上方修正を行うことといたしました。

この修正により、配当性向は33.1%程度となります。

(注) 上記の予想につきましては、本資料作成日現在で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、今後の様々な要因により、予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上